

フキの花芽分化について

本県の中山間地域では、山フキを有望な品目として生産の推進に取り組んでいるところです。フキ栽培では、フキ（葉柄）の収穫に加え、花芽を、「春を表現する野菜：フキノトウ」として収穫・出荷することができます。このフキノトウは、最近高単価で手間もかからないことから、注目されています。自然のフキの花芽分化については、夏の生育期間中に花芽が分化し秋に発達すると一般的に考えられていますが、十分に解明されていないため、不明な点が多いのが実情で、フキノトウの栽培方法も確立していません。



写真1 フキノトウ

そこで、今後のフキノトウ栽培における基礎的知見を得るため、三好郡内に自生しているフキと池田分場で栽培しているフキの花芽分化について、2002～2004年の3年間調査しました。その結果は、つぎのとおりです。

- ①生育の進んだフキの茎頂部では、7月下旬から8月上旬にかけて花芽分化が始まる。(写真2,3)
- ②生育の進んだフキの茎頂部では、10月下旬には、フキノトウの花弁が完成する。(写真4,5,6)
- ③標高が高い場所は、低い場所に較べて花芽（フキノトウ）の生育が早い。

フキ茎頂部実体顕微鏡写真



写真2  
花芽分化前

○の部分の生長点は、平坦で未分化の状態

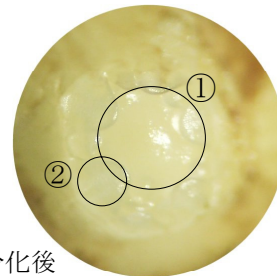


写真3  
花芽分化後

生長点①がドーム状に盛り上がり、  
周辺に鱗片葉②が多数分化している

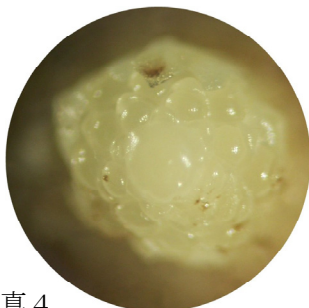


写真4  
頭状花の形状が完成されている

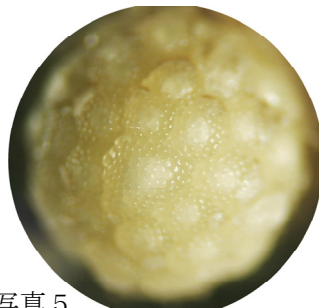


写真5  
小花の原基が完成している



写真6  
小花の花弁が完成している(性別：雄)

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター

農業研究所

中山間担当

TEL (0883) 72-0239

FAX (0883) 72-6868

<http://www.green.pref.tokushima.jp/nogyo>